



DODGEBEE
FESTA

第2回ドッジビーフェスタ in 成蹊学園

<大会報告書>

2016年12月2日



日本ドッジビー協会

【大会概要】

- 名 称 第2回 ドッチビーフェスタ in 成蹊学園
- 日 時 2016年(平成28年)11月19日(土曜日)9:00~17:00
- 場 所 成蹊学園 大学体育館/大学サッカー場・けやきグラウンド
〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
- 主 催 日本ドッチビー協会
- 後 援 武蔵野市教育委員会
- 協 力 武蔵野市スポーツ推進委員協議会
成蹊大学アルティメットチーム リベロス
- 協 賛 京王電鉄株式会社 / 文化シャッター株式会社
東京キリンビバレッジサービス株式会社
日本テトラパック株式会社 / ワタミ株式会社

【お問い合わせ先】

日本ドッチビー協会事務局

住所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

Tel : 03-3264-3626

Fax : 03-3264-3627

mail : support@dbja.jp

担当 : 稲垣 敬雄

【参加チーム一覧】

		人数
① ウエストシックス	荒川区立尾久第六小学校(4/5年)	15
② 大乱闘中	荒川区立汐入東小学校(5年)	16
③ 成蹊小学校 リベロス	成蹊小学校 正課クラブ(5/6年)	12
④ M. D. C	武蔵野市ドッジビークラブチーム(2~6年)	16
⑤ 成蹊 PEACH	成蹊小学校(3/5年)	18
⑥ 成蹊 DORAGOON	成蹊小学校(2/3/4年)	15
⑦ 成蹊 BOMBERS	成蹊小学校・その他(2/3/5/6年)	16
⑧ 尾久西ビクティニーズ	荒川区立尾久西小学校(2~6年)	15
⑨ CCICS team David	クリスチャンスクール(1~6年生)	12
⑩ CCICS team Joshua	クリスチャンスクール(1~6年生)	12
⑪ 番町小学校愛育会	千代田区立番町小学校(2~6年)	17
⑫ 麴町ファイアーズ	千代田区立麴町小学校(2~6年)	15
⑬ (1) Otobee	社会人サークル	17
⑭ (2) つっちBee!!	茨城県土浦市役所	14
⑮ (3) NDCウェスト	中学生+社会人 合同チーム	11
⑯ (4) M. D. C	武蔵野市ドッジビークラブチーム	11
⑰ (5) 成蹊大学リベロス	大学アルティメットチーム	20
⑱ (6) 成蹊マーベラス	成蹊小学校 保護者	11
⑲ (7) 成蹊ファビュラス	成蹊小学校 保護者	11
⑳ (8) ゴールデンイーグル	CCICS 保護者	10

●大会関係者総数： 40名

内訳 /主要スタッフ 10名
/協カスタッフ 25名
/来賓その他 5名

●参加選手総数 284名

◆大会関与者総合計 324名

◆観戦・引率保護者数 約200名

大会関係者総合計 約520名

【最終順位】

	小学生部門	一般部門
優勝	ウエストシックス	M.D.C
準優勝	尾久西ビクティニーズ	NDC ウェスト
3位	大乱闘中	Otobee

【大会ルール】

・日本ドッジビー協会公式ルールで実施。一部大会ルールを採用。

- 1) 試合の人数は小学生部門＝13名、一般部門＝10名
- 2) 試合時間はすべて前／後半 各＝3分30秒
- 3) 同点の場合＝予選リーグは引分、トーナメントはPT戦で決着
- 4) 決勝戦のみ終了時、同点の場合＝3分1本通しの延長戦をおこなう

【競技方法】

1) 小学年部門

- 予選 3チーム×4リーグにて予選リーグ戦をおこなう。(引分けあり)
順位決定 予選リーグの順位1～2位の8チームならびに
3～4位の各4チームによる順位決定トーナメント戦をおこなう。
同点の場合、ペナルティスロー戦で勝敗決定。

2) 一般部門

- 予選 4チーム×2リーグにて予選リーグ戦をおこなう。(引分けあり)
順位決定 各予選リーグの順位1～2位の4チームならびに
3～4位の各4チームによる順位決定トーナメント戦をおこなう。
同点の場合、ペナルティスロー戦で勝敗決定。

【参加賞】

協賛社様ご提供の参加賞

※配布 ～ ③は受付時、①②④⑤は閉会式

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ① 京王電鉄(株) | 京王電鉄キャラクター-けい太くん クリアファイル |
| ② 文化シャッター(株) | ソーラ-LEDライト キ-ホルダー |
| ③ 東京キリンビバレッジサービス(株) | 555mIスポーツドリンク |
| ④ 日本テトラパック(株) | エコ・ドッジビー270 |
| ⑤ ワタミ(株) | 系列全店使用可能 500円お食事券 |

【公式イベント】

★ DBJA公式【ドッチディスタンス記録会】

参加資格は本大会への申込書記載選手として実施。

※雨天のため、会場レイアウトを変更のうえ実施しました。

参加選手、全284名中、177名が参加しました。

日本記録の更新はありませんでした。

【付帯イベント】

～ 参加選手をはじめご来場者様のどなたでもお楽しみいただけます ～

～ 指導者が常駐し、基礎レクチャーを受けられる体験コーナーです ～

① 【ディスゲッタードッチ】のルール説明・体験会

大学体育館でのディスタンス記録会終了後、第4の種目としてリリースされました新種目、9枚パネルの的当てゲーム紹介・体験コーナーに転換し実施。

※雨天のため、時間を短縮／レイアウト変更のうえ実施しました。

② 「フライングディスク体験コーナー」を屋外に設置。

<AM>大学サッカー場にて

1) 【アルティメット】

2) 【ディスクゴルフ】

<PM>トンネル山グラウンドにて

1) 【アルティメット】

2) 【ゴールドッチ】

※雨天のため、②はすべて中止となりました。

③ 【アルティメット】のデモンストレーションゲームを昼食時におこないます。

成蹊大学アルティメットサークル「リベロス」とチームOB OGによる本規格コートでのアルティメットゲームをけやきグラウンドで実施。

※雨天のため、時間を短縮して体育館内にて実施しました。

【講 評】

DBJA主催行事として最も新しい形態の「ドッチビーフェスタ」は昨年度、同じく成蹊学園内、小学校体育館で8チームが集まって第1回を開催し、今回が2回目となります。

今年は平成28年11月19日、土曜日の開催となり、成蹊大学の学園祭と同日程でおこなうという稀有な大会となりました。



ところが残念ながら朝から冷たく、強い雨。天候だけは如何ともし難く、屋外で実施を予定していた付帯イベントの中止が確定的となりました。

この天候の中、朝の設営作業を考えると……

しかし前日の金曜日15時から会場を押さえていただいたことで設営作業は済ませることができており、その点では

非常に助かりました！また、成蹊学園は吉祥寺に広大な敷地を有し、小・中・高校から大学までがワンキャンパスに収容される素晴らしい環境にあります。今回の会場となる大学体育館は敷地の奥に位置しており正門から徒歩で5分以上、それなりの距離があるため正門からキャンパス内に複数の案内看板を立てるなど、事前準備にも相応の労力が必要となりましたが、それらを成蹊学園関係者様に担っていただきましたことも本当に助かりました！！関係各位には会場提供から事前準備作業まで、多大なるご協力をいただき主催者として心より感謝いたします。ありがとうございました。



「ドッチビーフェスタ」の基本コンセプトはディスクスポーツの総合イベントを開催しドッチビーファン層に向けて、見せて、体験して、いただくことにありますが、天候のことであり、どうしようもないこととはいえ、付帯イベントの中止は痛恨の極みとも言えることでした。

とはいえ、催しの主軸は20チームによるディスクドッチ大会であり、その競技環境として今回会場は好適であることは間違いなく、今後も学園の協力を頂ける限り、主となる大会と副とするイベントが両立する新しいスタイルを確立させたいと考えています。

初回が大変好評だったからなのか？今回の参加申込みは小学生部門＝12チーム、一般部門＝8チーム、合計20チーム、総数、約300名の選手、その他関係者も含めると500名超が集まり、2回目にして前回の約3倍規模となるイベントになりました。

この対応として成蹊大学アルティメットサークル／リベロスの存在は非常に重要で、絶大なチカラを発揮しました。サークル創設者が中心となつてのOB OGの協力、現役チームも総力挙げての協力体制で対応してくれたことで運営機動力は格段にUP。

また、審判やスタッフをお引受けいただいた武蔵野市スポーツ推進委員の皆さま、ならびにご後援をいただいた武蔵野市教育委員会様など、会場地の関係各位によるご理解・ご協力をいただけたことに大きな幸せを感じました。



さて、主となる試合内容ですが、大会の出場初体験チームからDBJA主催大会の常連チームまで幅広いチームにお集まりいただきました。

よって予選の段階ではそれらの両チームの対戦になるとワンサイドの展開となる試合もありましたが、ビギナーチームには良い刺激になったものと思います。両部門ともにトーナメント戦に入り決勝に近づくほど、白熱した見応え充分な好ゲームが展開されていました。



戦績結果として小学生部門は荒川区同士の決勝戦となり、1点差で女子中心のウエストシックスが優勝。荒川区は上位入賞を独占！！一般部門は地元、MDCが危なげなく、勝利を収め、2位には足立区のNDCが入賞しました。



副となるイベントについては急遽の会場レイアウト変更などあり、当初想定通りとはいきませんでした。ドッジディスタンスと



ディスタンスゲッタードッジをおこない楽しんでプレーする姿を見る

ことができたことは嬉しく感じました。



また、成蹊大リベロスによるアルティメット・デモゲームも昼食時に体育館でおこない、本来のダイナミックさは、さすがに出せないものの注目を集めていました。



一方、運営面においてはトラブルが多発したこともあり非常に反省点が多い大会でした。まずは大会直前に主要ポジションのスタッフがやむを得ない事情で欠けてしまう事態が発生、それも相次ぎ複数発生したことは予期出来ないこととはいえ、リカバリーがまったくできず過去、経験のない非常事態ともいえる状況がありました。

さらに当日の悪天候により居場所が屋内に限られ、閉塞感がぬぐえない現場。急遽の変更が多く発生したことで、各プログラムが場当りの対応になってしまったこと。あらためて参加者の皆さまには主催者としてお詫び申し上げます。



悪天候を想定した事前準備やスタッフ構成を二重三重で考える必要性などを終了後、心底より感じる、とても勉強になった大会でした。この経験を活かし、参加選手は基より、来場いただくすべての皆さまに快適に楽しんでもいただける運営を今後、目指します。

最後に大会スポンサー各社様より参加賞
ならびに表彰副賞など物品を頂戴するとともに
多大なるご協賛・ご支援を頂戴しましたこと、
また、関係各位のご協力により大きな事故なく、
本大会を終了することができましたこと、
あらためて御礼申し上げまして
報告とさせていただきます。

ありがとうございました

